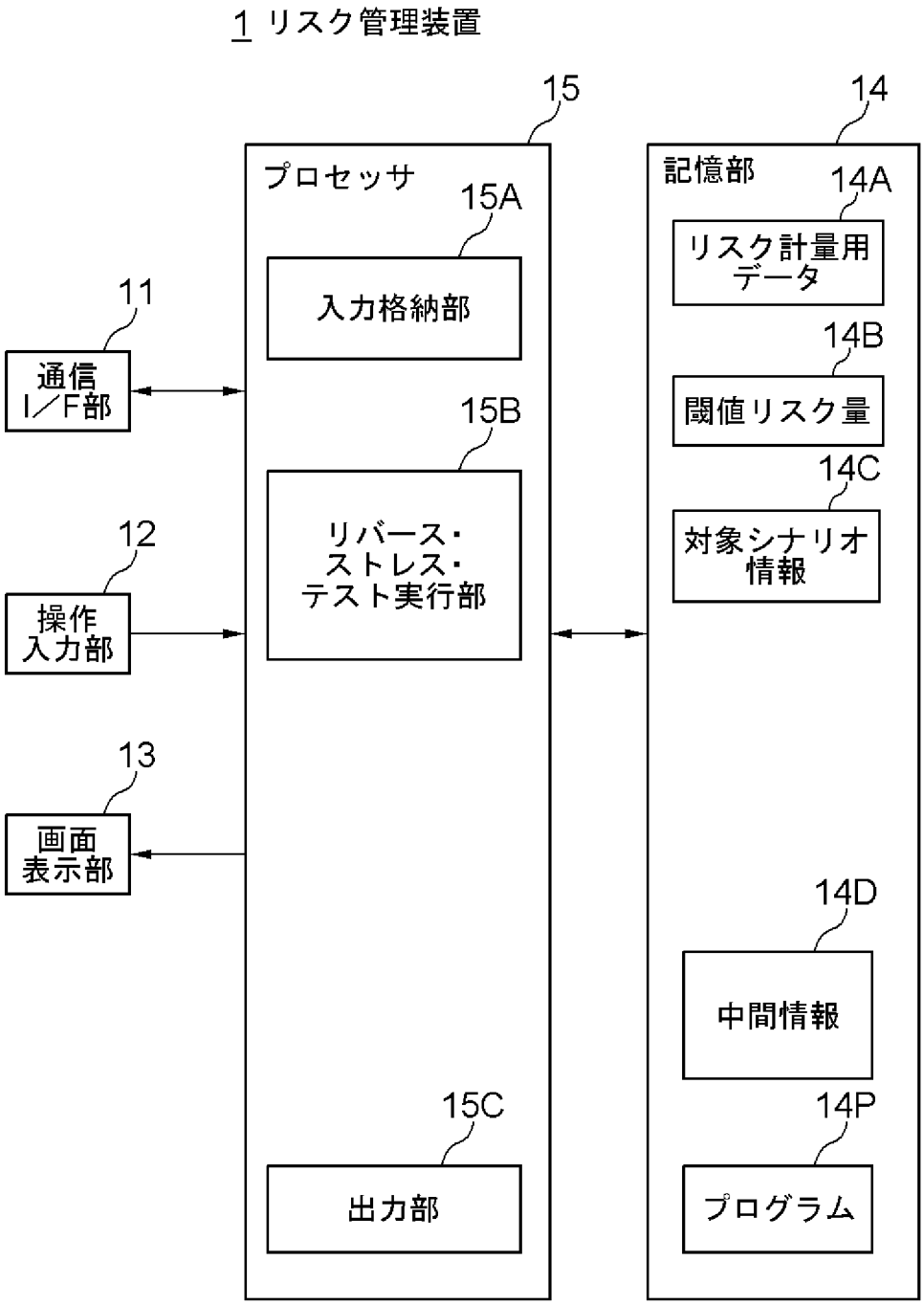
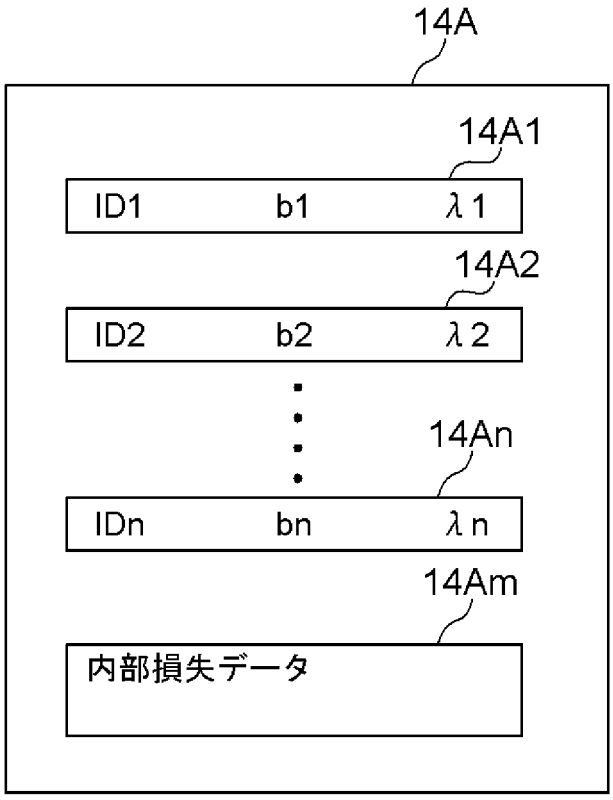
[図1]


1 リスク管理装置
15
プロセッサ
15A
入力格納部
15B
リバース・
ストレス・
テスト実行部
15C
出力部
14
記憶部
14A
リスク計量用
データ
14B
閾値リスク量
14C
対象シナリオ
情報
14D
中間情報
14P
プログラム
11
通信
I／F部
12
操作
入力部
13
画面
表示部

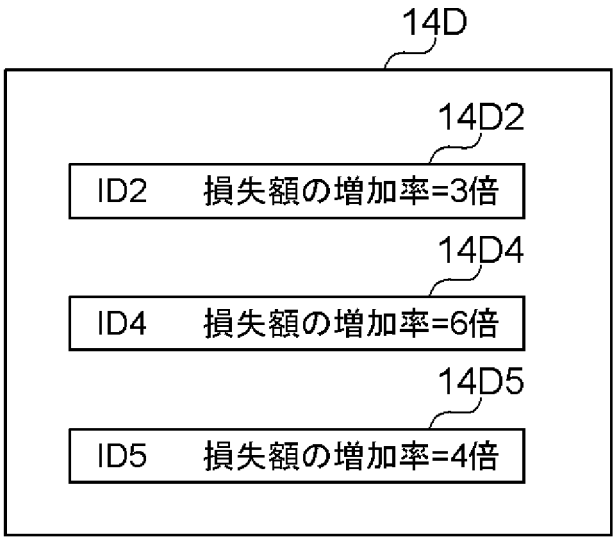
[図2]



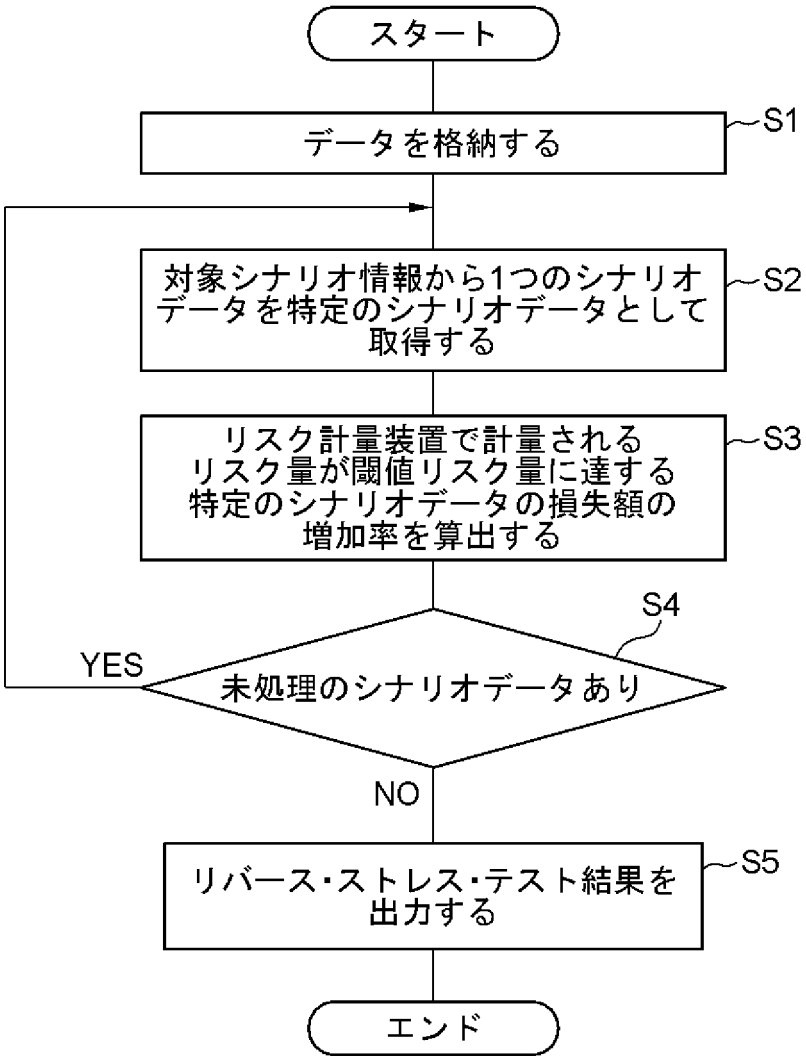
[図3]



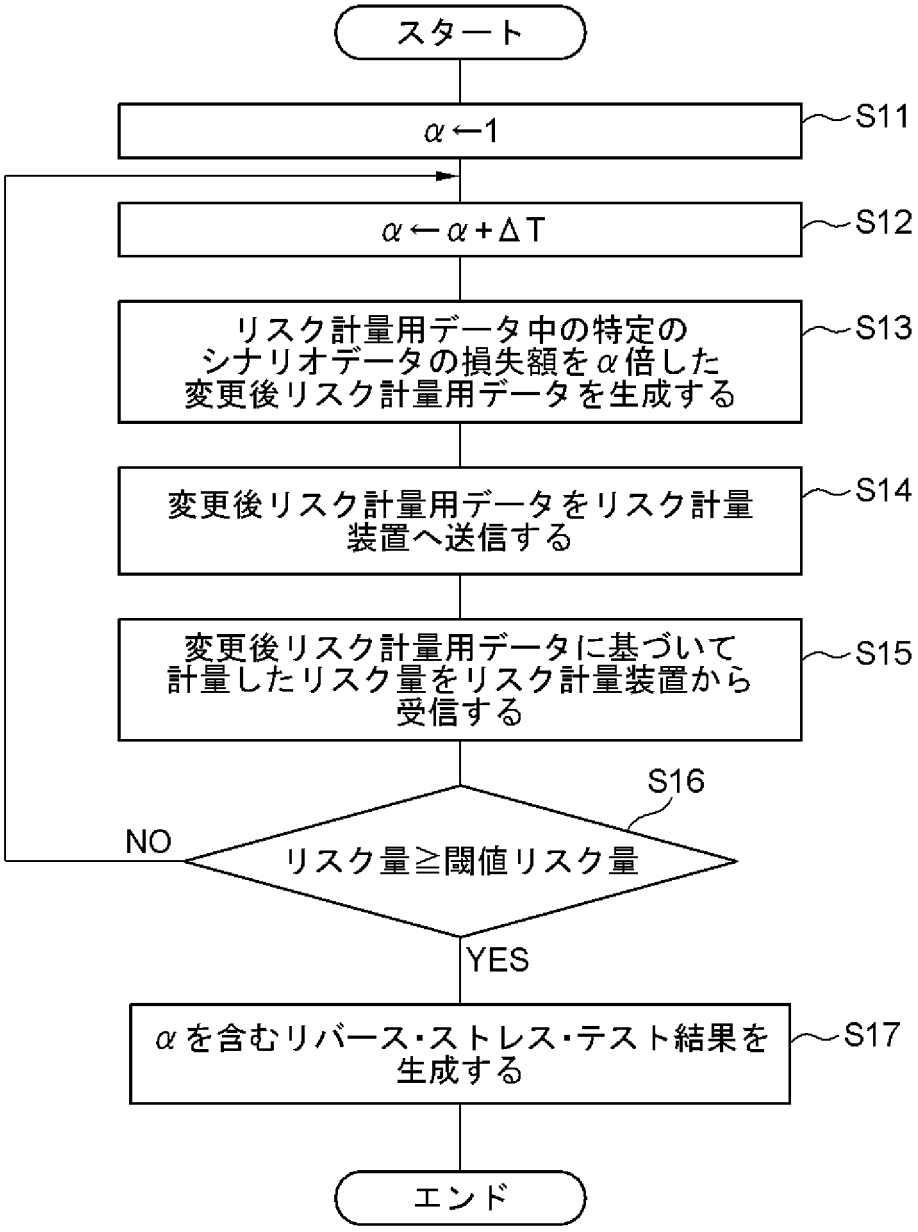
[図4]


14D
14D2
ID2 損失額の増加率=3倍
14D4
ID4 損失額の増加率=6倍
14D5
ID5 損失額の増加率=4倍

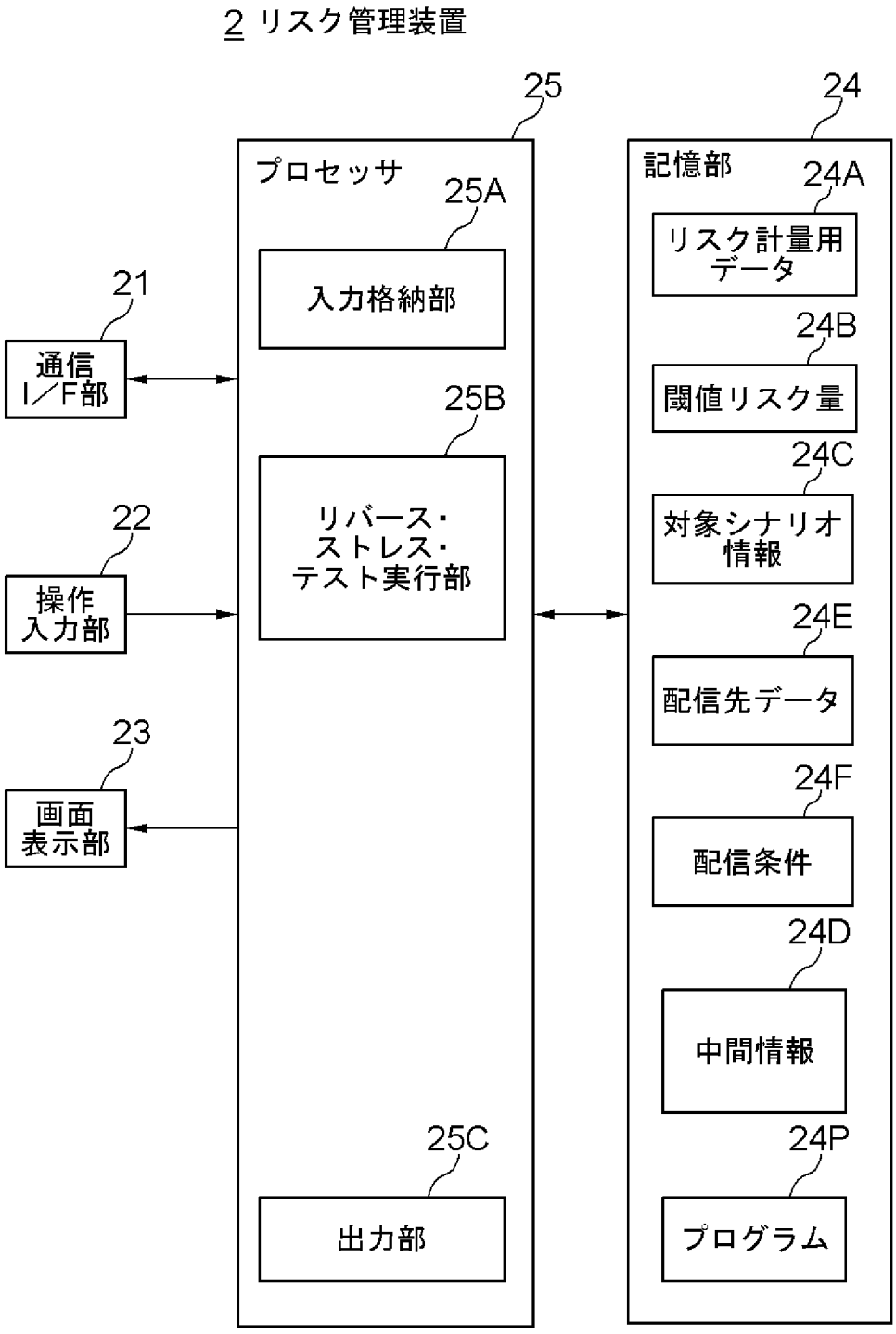
[図5]


スタート
データを格納する
S1
対象シナリオ情報から1つのシナリオデータを特定のシナリオデータとして取得する
S2
リスク計量装置で計量されるリスク量が閾値リスク量に達する特定のシナリオデータの損失額の増加率を算出する
S3
S4
未処理のシナリオデータあり
YES
NO
リバース・ストレス・テスト結果を出力する
S5
エンド

[図6]


スタート
α←1
S11
α←α+ΔT
S12
リスク計量用データ中の特定の
シナリオデータの損失額をα倍した
変更後リスク計量用データを生成する
S13
変更後リスク計量用データをリスク計量
装置へ送信する
S14
変更後リスク計量用データに基づいて
計量したリスク量をリスク計量装置から
受信する
S15
S16
NO
リスク量≧閾値リスク量
YES
αを含むリバース・ストレス・テスト結果を
生成する
S17
エンド

[図7]


2 リスク管理装置
25
プロセッサ
25A
入力格納部
25B
リバース・
ストレス・
テスト実行部
25C
出力部
24
記憶部
24A
リスク計量用
データ
24B
閾値リスク量
24C
対象シナリオ
情報
24E
配信先データ
24F
配信条件
24D
中間情報
24P
プログラム
21
通信
I／F部
22
操作
入力部
23
画面
表示部

[図8]

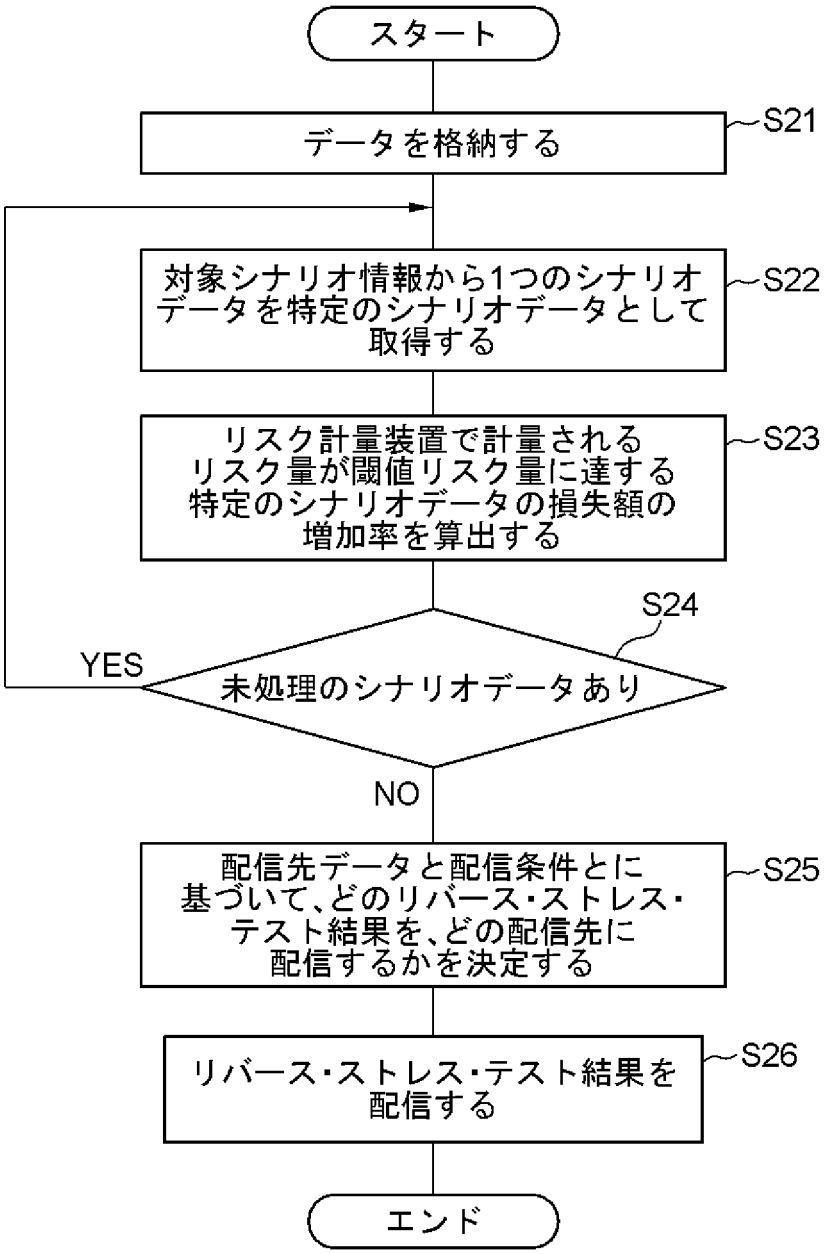
シナリオID	作成部署	損失発生部署	類似保有部署	リスク統括部署
ID1	A	A	B	Z
ID2	D	E	なし	Z
ID3	D	E	B	Z
ID4	E	F	C	Z
ID5	F	F	E	Z
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

[図9]

24F 配信条件

番号	内容
1	作成部署には、全てのテスト結果を配信する
2	損失発生部署には、増加率が5倍以下のテスト結果を配信する
3	類似保有部署には、増加率が10倍以下のテスト結果を配信する
4	リスク統括部署には、全てのテスト結果を配信する

[図10]


スタート
データを格納する
S21
対象シナリオ情報から1つのシナリオデータを特定のシナリオデータとして取得する
S22
リスク計量装置で計量されるリスク量が閾値リスク量に達する特定のシナリオデータの損失額の増加率を算出する
S23
S24
未処理のシナリオデータあり
YES
NO
配信先データと配信条件とに基づいて、どのリバース・ストレス・テスト結果を、どの配信先に配信するかを決定する
S25
リバース・ストレス・テスト結果を配信する
S26
エンド

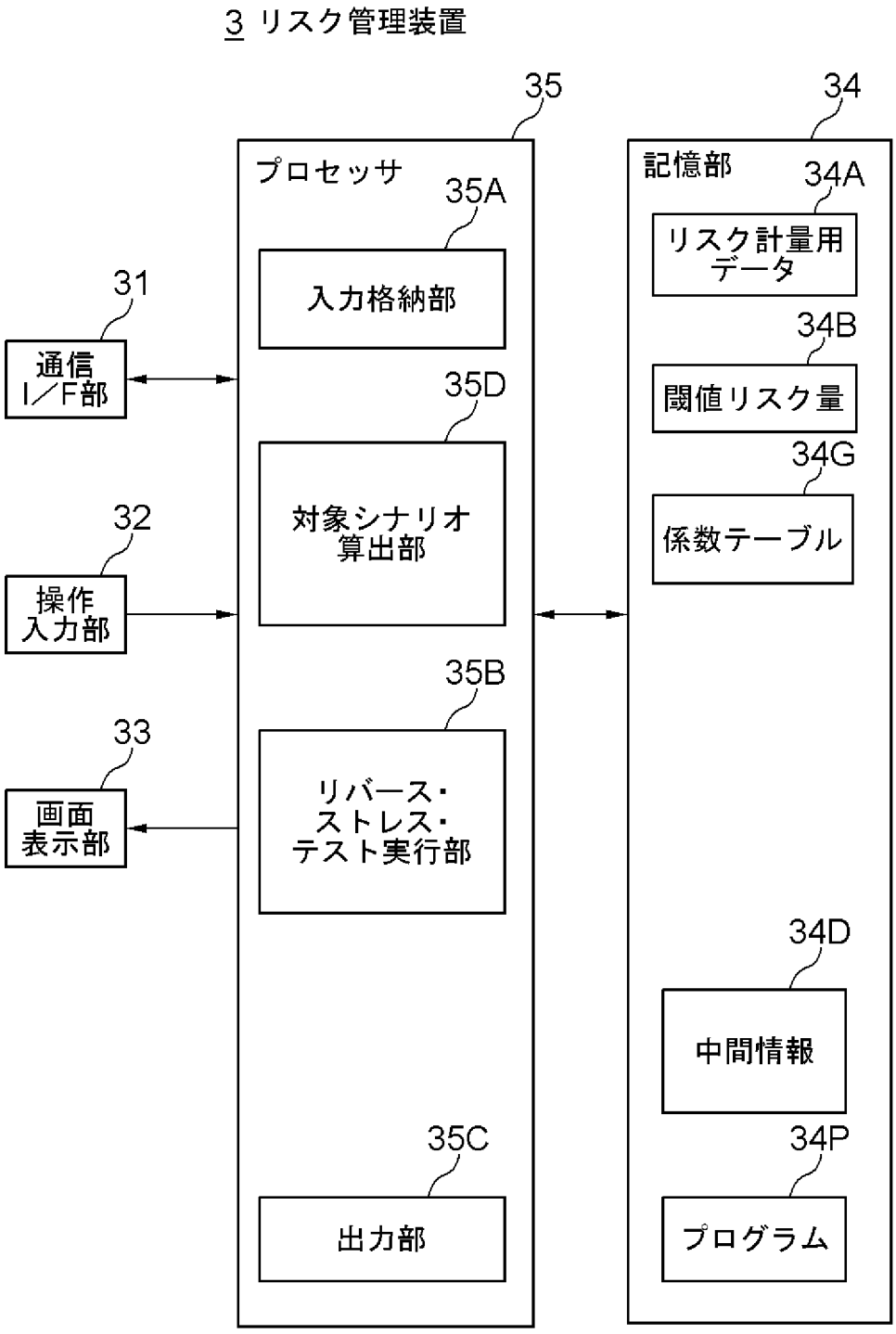
[図11]

配信先：部署E

テスト結果

区分	シナリオID	増加率	事象の種類
作成部署として	ID4	6倍	東海大地震
損失発生部署として	ID2	3倍	振り込め詐欺
類似保有部署として	ID5	4倍	システムダウン
リスク統括部署として	なし	—	—

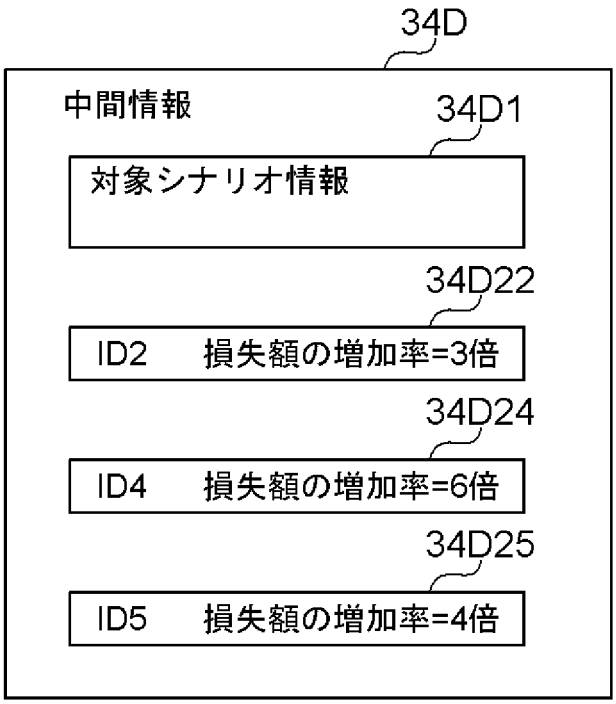
[図12]


3 リスク管理装置
35
プロセッサ
35A
入力格納部
35D
対象シナリオ
算出部
35B
リバース・
ストレス・
テスト実行部
35C
出力部
34
記憶部
34A
リスク計量用
データ
34B
閾値リスク量
34G
係数テーブル
34D
中間情報
34P
プログラム
31
通信
I／F部
32
操作
入力部
33
画面
表示部

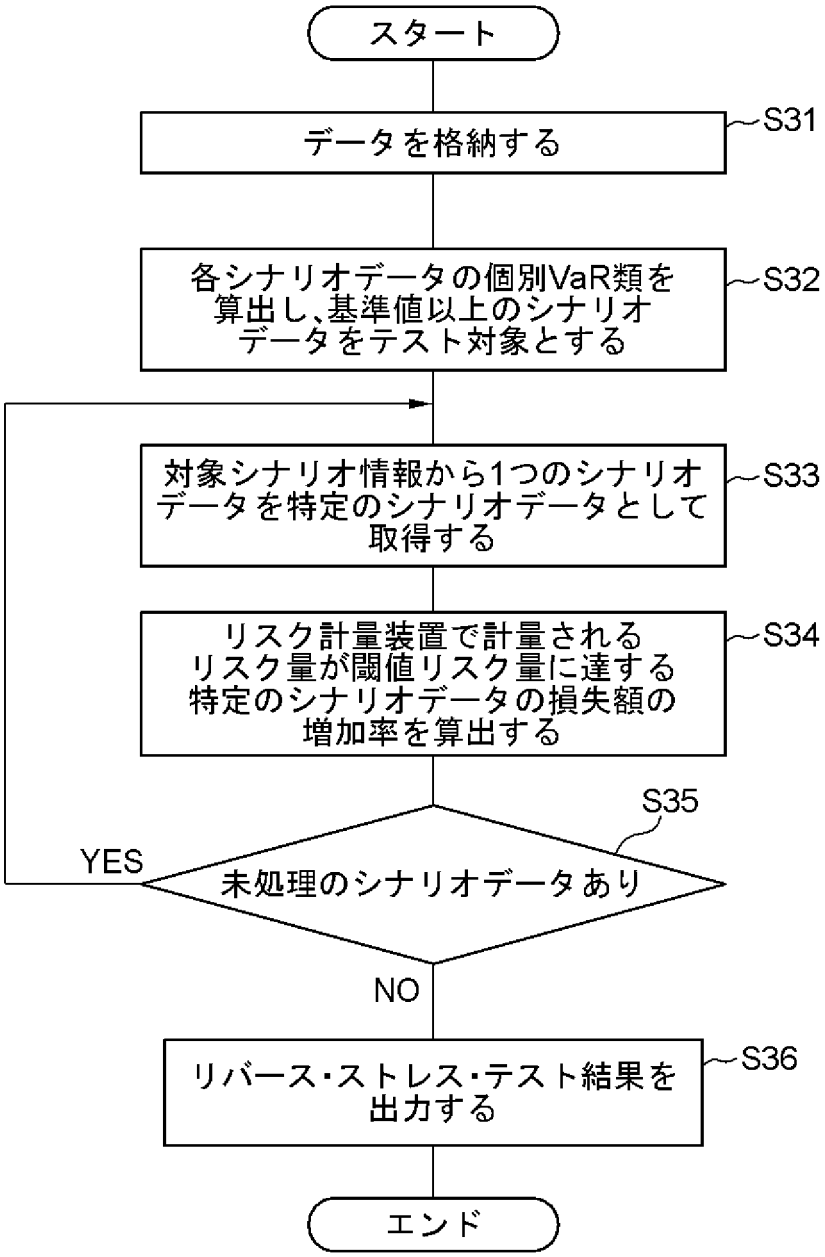
[図13]

X年に1回	λ (=1／X)	頻度に応じた係数（スムージング無）	頻度に応じた係数（スムージング有）
1	1	5	5.722
2	0.5	4	4.250
3	0.333333	3	3.639
4	0.25	3	3.286
5	0.2	3	3.048
6	0.166667	2	2.874
7	0.142857	2	2.739
8	0.125	2	2.630
9	0.111111	2	2.541
10	0.1	2	2.465
20	0.05	2	2.048
30	0.033333	1	1.858
40	0.025	1	1.741
50	0.02	1	1.660
60	0.016667	1	1.598
70	0.014286	1	1.549
80	0.0125	1	1.508
90	0.011111	1	1.474
100	0.01	1	1.445
200	0.005	1	1.277
300	0.003333	1	1.194
400	0.0025	1	1.142
500	0.002	1	1.104
600	0.001667	1	1.075
700	0.001429	1	1.051
800	0.00125	1	1.031
900	0.001111	1	1.014
1000	0.001	0	1.000
2000	0.0005	0	0.913
3000	0.000333	0	0.869
4000	0.00025	0	0.840
5000	0.0002	0	0.819
6000	0.000167	0	0.802
7000	0.000143	0	0.789
8000	0.000125	0	0.777
9000	0.000111	0	0.767
10000	0.0001	0	0.759

[図14]


34D
中間情報
34D1
対象シナリオ情報
34D22
ID2 損失額の増加率=3倍
34D24
ID4 損失額の増加率=6倍
34D25
ID5 損失額の増加率=4倍

[図15]


スタート
データを格納する
S31
各シナリオデータの個別VaR類を算出し、基準値以上のシナリオデータをテスト対象とする
S32
対象シナリオ情報から1つのシナリオデータを特定のシナリオデータとして取得する
S33
リスク計量装置で計量されるリスク量が閾値リスク量に達する特定のシナリオデータの損失額の増加率を算出する
S34
S35
未処理のシナリオデータあり
YES
NO
リバース・ストレス・テスト結果を出力する
S36
エンド